輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

「陰徳（いんとく）を積む」。NLPⅢの達成に向けて！

－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

先週土曜日、３月５日は二十四節気でいう「**啓蟄（けいちつ）**」でした。大地も暖まり、寒さが和らぎ、冬ごもりしていた土の中の虫が穴を開いて顔を出す頃、ひと雨毎に暖かくなる頃です。

さて、６年生を送る会の時、全校生に「６年生は見えないところで頑張るからかっこいい。」という話をしました。先週の朝会では、「**陰徳（いんとく）を積む**」という話をしました。**陰徳とは、人知れず行っている善行のことを指します。**人に知られることなく、善い行いを自分から進んで行い、日々積み重ねるという意味です。自慢げに自分がした善い行を話してしまうと陰徳とは呼べません。「陰徳を積む」ためには、道具は必要ありません。また、特別な場所も必要ありません。**「陰徳を積む」のに必要となるのは、徳を積もうという心だけです。**自分の利益のためではなく、他人の利益のため、そして、他人を喜ばすために行動していくことです。しかし、陰徳は、とてもいいことをしているのに、誰からも認められないので、自分の中では、少し、ちょっぴり、損したように感じることがあるかもしれません。朝会の時、子供達には少しの間、自分ができそうな陰徳を考えてもらいました。オンラインだったので、その場で子供達に尋ねることはしませんでしたが、どのようなことに思いを巡らせたのか、一度、子供達には聞いてみたいなと思っています。一日一日、一人が一つ善い行いをすることで、中番小学校には、120 程の善い行いが生まれます。その場ですぐに役立つこと、暫く時間が経って良い効果が出ること、その結果は、効果は、様々だろうと思います。見えないところで、人知れず、みんなの為に、みんなの役に立っている、そのような「陰徳」を積めるようになりたいものだと思います。陰徳は決して人の為だけではないと思います。心から納得し、人の為に動こうという心のあり方は、その人を必ず成長させるものだと思います。「陰徳を積む」ことは、自分の運気をよくするパワーの源を貯めることに繋がると思います。いわば心のエネルギーの貯金と同じです。この「陰徳」の貯金はとても偉大だと思いませんか。さりげなく、人知れず、誰も見ていないところで、誰かの為のささやかな行い、ちょっした行い。それをした時、し終えた時に、誰でもない自分の心に、ふっと、ひらひらと降りてくる美しい花弁のような優しい気持ち、心がほっこり豊かになる、そんな経験がきっと、誰にでもあるのではないでしょうか。

また、今週は **NLPⅢの終了週**となります。ご家庭でも沢山応援をいただいておりますこと誠にありがとうございます。今週の **３月 10 日（木）が最終日**となります。この NLP を始めた時に比べると、付箋の割合は格段に減っています。やはり積み重ねが大きな力になるということを雄弁に物語っています。そして、字が丁寧に、美しくなってきました。字が丁寧であること、美しいということは、とても大切です。問題集を見ていると、本当に一言一句、しっかりと書いている子供がいます。そして、間違いを赤で、丁寧に直しています。自分で答えを確認し、間違いを赤できちんと直す、この繰り返しがきちんとできているのです。このような問題集を見ると本当に嬉しくなります。この子供が問題集に取り組んでいる姿が浮かんできます。自分で学習し、自分で答えを確認し、自分で間違いを直す、**学びのサイクルが生まれています。**３回全ての NLP を達成した児童がいます。実に見事です。素晴らしいです。その子にとって、正に勲章だと思います。

３月６日迄「まん延防止等重点措置」が延長されました。引き続き、**「恐れず、正しく、適切に」**対応し、感染症対策（朝の検温、マスクの着用、手洗い、手指の消毒、３密回避等）を徹底します。保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。

学校通信　№８１　令和４年３月７日　小野市立中番小学校長　田中康善